

タイトル「**2022年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS4607		
科目名	卒業論文		
担当教員	松原 茂		
対象学年	4年	開講学期	通年
曜日・時限	月 5		
講義室	1316	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	8
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 D P 3－G〔状況把握力・判断力〕自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 D P 3－H〔論理的思考力・批判的思考力〕理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。 D P 4－F〔探究力・課題解決力〕問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 D P 4－I〔理解力・分析力〕文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 D P 5－J〔創造的挑戦力・達成力〕コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 F 1 探求と論拠（20%） G 1 状況把握（15%） H 1 論理的思考（30%） I 2 量的分析（15%） I 3 情報分析（15%） J 2 創造的思考（5%）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	本学科での4年間に渡る経験を基に、各学生の興味関心の高い体育スポーツに関する幅広い学問領域を踏まえながら卒業論文としてまとめることを目的とします。文献や資料を正確に調べ、指導教員や受講生と討論を重ねながら、学生自身の課題を深化させていきます。そして卒業論文提出までに定期的な報告会を設定し、1年を通して卒業論文をまとめていきます。授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れます。 ■キーワード 文献精査・研究・反省的实践		
授業の趣旨	■副題 スポーツ科学に関する研究計画の立案および実践の発表および論文化 ■授業の目的 ゼミナールで学習した内容を中心に自身の研究課題を設定し、これまでの講義・演習で学ん		

	だ研究方法を用いて計画の立案から実践までを行い、研究結果に関する他者との議論内容を踏まえ、研究論文としてまとめることができるようになることを目的とします。 ■授業のポイント コーチング学研究法演習やゼミナール等で学習した研究方法を用いて量的・質的データを収集し、コーチングやチームマネジメントの最適化に関する仮説の生成や検証を行い、その成果を論文という形にまとめます。			
総合到達目標	■スポーツ科学研究のエビデンスを活用しながら諸方策を導き出していく反省的实践家としての能力を涵養するために、自身またはグループで研究課題を設定し、これまでに学修した内容を踏まえて研究方法を用いて計画の立案から実践までを行い、その成果を研究論文としてまとめる能力を身につける。 ・ゼミナール等で学修した内容を踏まえて自身またはグループで研究計画を立案し、その計画に基づいて研究を実践することができる。（第2～6回） ・収集されたデータをもとに、コーチングやチームマネジメントの最適化に関する仮説を検証することができる。（第7～20回） ・研究の内容について発表を行い、他者との討議を踏まえて再吟味し、研究論文としてまとめることができる。（第21～30回）			
成績評価方法	■授業参加度（10%）：適用ルーブリック G 1・H 1・J 2 （評価の観点）他者の発表に関する肯定的、批判的な内容を含む講評をリアクションペーパーや質疑応答の態度・行動で評価します。 （フィードバックの方法）授業内での講評を行います。 ■定例プレゼンテーション（10%）：適用ルーブリック F 1・H 1・I 2・I 3・J 2 （評価の観点）自身の研究実践経過および結果を定例的に発表し、その内容について評価を行います。 （フィードバックの方法）各発表後に講評を行います。 ■論文（80%）：適用ルーブリック F 1・H 1・I 2・I 3・J 2 （評価の観点）作成した論文の内容について評価を行います。 （フィードバックの方法）論文提出後、個別に面談を行います。			
履修条件	ゼミナールⅡ（SSCS4606）を履修していること			
履修上の注意点	特にありません。			
授業内容	回	内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 卒業研究の進め方や評価についての説明を聞き、研究を進めていく過程やその方法および卒業研究を通して何を学ぶかについて整理する。 ③予習（300分） ゼミナールでまとめた内容を再度確認し、シラバスを読んで授業の流れについて確認しておく。 ④復習（300分） ガイダンスで説明された内容について再度シラバスを確認し、自身およびグループで取り組む内容とスケジュールについて確認しておく。	16	①授業テーマ 卒業論文完成にむけて ②授業概要 前期授業内容および中間発表会を振り返り、自身で論文をまとめていく過程を整理する（F 1、H 1、I 2、I 3、J 2）。 ③予習（300分） 前期授業内容および中間発表を振り返り、まとめていくのに必要な課題を整理しておく。 ④復習（300分） 論文提出までの過程を今一度確認し、次週以降の活動が円滑に進むよう内容を整理する。
	2	①授業テーマ 研究計画の再検討① ②授業概要 ゼミナールⅡで作成した研究計画について再吟味し、問題・課題の抽出と必要な修正等を行う（F 1、H 1、I 2、I 3、J 2）。 ③予習（300分） ゼミナールⅡで作成した研究計画の問題・課題の抽出と必要な修正等について整理しておく。 ④復習（300分） 授業で抽出した問題・課題および修正	17	①授業テーマ 研究の実践⑤ ②授業概要 これまでに収集してきた量的・質的データの整理・分析を行い、考察を進める（F 1、H 1、I 2、I 3、J 2）。 ③予習（300分） 研究データを整理・分析するための準備を行っておく。 ④復習（300分） 研究を進めていく中での課題や修正点を整理しておく。

	内容を再確認し、研究計画の実戦に関して必要な準備作業を行う。		
3	①授業テーマ 研究計画の再検討② ②授業概要 ゼミナールⅡで作成した研究計画について再吟味し、問題・課題の抽出と必要な修正等を行う（F 1、H 1、I 2、I 3、J 2）。 ③予習（300分） ゼミナールⅡで作成した研究計画の問題・課題の抽出と必要な修正等について整理しておく。 ④復習（300分） 授業で抽出した問題・課題および修正内容を再確認し、研究計画の実戦に関して必要な準備作業を行う。	18	①授業テーマ 研究の実践⑥ ②授業概要 これまでに収集してきた量的・質的データの整理・分析を行い、考察を進める（F 1、H 1、I 2、I 3、J 2）。 ③予習（300分） 研究データを整理・分析するための準備を行っておく。 ④復習（300分） 研究を進めていく中での課題や修正点を整理しておく。
4	①授業テーマ 研究計画の再検討③ ②授業概要 ゼミナールⅡで作成した研究計画について再吟味し、問題・課題の抽出と必要な修正等を行う（F 1、H 1、I 2、I 3、J 2）。 ③予習（300分） ゼミナールⅡで作成した研究計画の問題・課題の抽出と必要な修正等について整理しておく。 ④復習（300分） 授業で抽出した問題・課題および修正内容を再確認し、研究計画の実戦に関して必要な準備作業を行う。	19	①授業テーマ 研究の実践⑦ ②授業概要 これまでに収集してきた量的・質的データの整理・分析を行い、考察を進める（F 1、H 1、I 2、I 3、J 2）。 ③予習（300分） 研究データを整理・分析するための準備を行っておく。 ④復習（300分） 研究を進めていく中での課題や修正点を整理しておく。
5	①授業テーマ 研究計画の整理及びプレゼンテーション① ②授業概要 再検討してきた研究計画の修正ポイントについて発表を行う（F 1、H 1、I 2、I 3、J 2）。 ③予習（300分） 授業で得られた情報を踏まえて、作成した資料等について加筆修正する。 ④復習（300分） 授業での議論を踏まえて、今後の研究実践に必要な情報を再度整理する。	20	①授業テーマ 研究の実践⑧ ②授業概要 これまでに収集してきた量的・質的データの整理・分析を行い、考察を進める（F 1、H 1、I 2、I 3、J 2）。 ③予習（300分） 研究データを整理・分析するための準備を行っておく。 ④復習（300分） 研究を進めていく中での課題や修正点を整理しておく。
6	①授業テーマ 研究計画の整理及びプレゼンテーション② ②授業概要 再検討してきた研究計画の修正ポイントについて発表を行う（F 1、H 1、I 2、I 3、J 2）。 ③予習（300分） 授業で得られた情報を踏まえて、作成した資料等について加筆修正する。 ④復習（300分） 授業での議論を踏まえて、今後の研究実践に必要な情報を再度整理する。	21	①授業テーマ 研究実践の整理及びプレゼンテーション① ②授業概要 これまで進めてきた研究実践の進捗状況について発表を行う（F 1、H 1、I 2、I 3、J 2）。 ③予習（300分） 授業で得られた情報を踏まえて、作成した資料等について加筆修正する。 ④復習（300分） 授業での議論を踏まえて、今後の研究実践に必要な情報を再度整理する。
7	①授業テーマ 研究の実践① ②授業概要 修正した研究計画を踏まえて、自身もしくはグループでの研究計画を実践す	22	①授業テーマ 研究実践の整理及びプレゼンテーション② ②授業概要 これまで進めてきた研究実践の進捗状

	る。ここでは量的・質的データを収集・分析するための調査など様々な研究方法が想定される（F 1、H 1、I 2、I 3、J 2）。 ③予習（300分） 研究計画を実行するための準備を行っておく。 ④復習（300分） 研究実行していく中での課題や修正点を整理しておく。		況について発表を行う（F 1、H 1、I 2、I 3、J 2）。 ③予習（300分） 授業で得られた情報を踏まえて、作成した資料等について加筆修正する。 ④復習（300分） 授業での議論を踏まえて、今後の研究実践に必要な情報を再度整理する。
8	①授業テーマ 研究の実践② ②授業概要 修正した研究計画を踏まえて、自身もしくはグループでの研究計画を実践する。ここでは量的・質的データを収集・分析するための調査など様々な研究方法が想定される（F 1、H 1、I 2、I 3、J 2）。 ③予習（300分） 研究計画を実行するための準備を行っておく。 ④復習（300分） 研究実行していく中での課題や修正点を整理しておく（F 1、H 1、I 2、I 3、J 1）。	23	①授業テーマ 研究の実践⑨ ②授業概要 これまでに収集してきた量的・質的データの整理・分析を行い、考察を進める（F 1、H 1、I 2、I 3、J 2）。 ③予習（300分） 研究データを整理・分析するための準備を行っておく。 ④復習（300分） 研究を進めていく中での課題や修正点を整理しておく。
9	①授業テーマ 研究の実践③ ②授業概要 修正した研究計画を踏まえて、自身もしくはグループでの研究計画を実践する。ここでは量的・質的データを収集・分析するための調査など様々な研究方法が想定される（F 1、H 1、I 2、I 3、J 2）。 ③予習（300分） 研究計画を実行するための準備を行っておく。 ④復習（300分） 研究実行していく中での課題や修正点を整理しておく。	24	①授業テーマ 研究の実践⑩ ②授業概要 これまでに収集してきた量的・質的データの整理・分析を行い、考察を進める（F 1、H 1、I 2、I 3、J 2）。 ③予習（300分） 研究データを整理・分析するための準備を行っておく。 ④復習（300分） 研究を進めていく中での課題や修正点を整理しておく。
10	①授業テーマ 研究の実践④ ②授業概要 修正した研究計画を踏まえて、自身もしくはグループでの研究計画を実践する。ここでは量的・質的データを収集・分析するための調査など様々な研究方法が想定される（F 1、H 1、I 2、I 3、J 2）。 ③予習（300分） 研究計画を実行するための準備を行っておく。 ④復習（300分） 研究実行していく中での課題や修正点を整理しておく。	25	①授業テーマ 研究の実践⑪ ②授業概要 これまでに収集してきた量的・質的データの整理・分析を行い、考察を進める（F 1、H 1、I 2、I 3、J 2）。 ③予習（300分） 研究データを整理・分析するための準備を行っておく。 ④復習（300分） 研究を進めていく中での課題や修正点を整理しておく。
11	①授業テーマ 研究実践の整理及び中間発表準備① ②授業概要 これまでの研究実践の経過や得られたデータについて整理し、資料の作成や中間発表に向けた準備を行う（F 1、H 1、I 2、I 3、J 2）。	26	①授業テーマ 研究の実践⑫ ②授業概要 これまでに収集してきた量的・質的データの整理・分析を行い、考察を進める（F 1、H 1、I 2、I 3、J 2）。 ③予習（300分）

	③予習 (300分) 授業で得られた情報を踏まえて、作成した資料について加筆修正する。 ④復習 (300分) 授業での議論を踏まえて、プレゼンテーションに必要な情報を再度整理する。	研究データを整理・分析するための準備を行っておく。 ④復習 (300分) 研究を進めていく中での課題や修正点を整理しておく。
12	①授業テーマ 研究実践の整理及び中間発表準備② ②授業概要 これまでの研究実践の経過や得られたデータについて整理し、資料の作成や中間発表に向けた準備を行う (F 1、H 1、I 2、I 3、J 2)。 ③予習 (300分) 授業で得られた情報を踏まえて、作成した資料について加筆修正する。 ④復習 (300分) 授業での議論を踏まえて、プレゼンテーションに必要な情報を再度整理する。	①授業テーマ 研究実践の整理及び最終発表準備① ②授業概要 これまでの研究実践の経過や得られたデータについて整理し、資料の作成や最終発表に向けた準備を行う (F 1、H 1、I 2、I 3、J 2)。 ③予習 (300分) 授業で得られた情報を踏まえて、作成した資料について加筆修正する。 ④復習 (300分) 授業での議論を踏まえて、プレゼンテーションに必要な情報を再度整理する。
13	①授業テーマ 中間発表会① ②授業概要 自身で取り組む研究の経過について発表を行う (F 1、H 1、I 2、I 3、J 2)。 ③予習 (300分) これまでの発表形式での授業を参考に、より伝わるプレゼンテーションを目指し、繰り返し練習を行っておく。 ④復習 (300分) プレゼンテーションを振り返り、必要な修正や、課題の抽出を行っておく。	①授業テーマ 研究実践の整理及び最終発表準備② ②授業概要 これまでの研究実践の経過や得られたデータについて整理し、資料の作成や最終発表に向けた準備を行う (F 1、H 1、I 2、I 3、J 2)。 ③予習 (300分) 授業で得られた情報を踏まえて、作成した資料について加筆修正する。 ④復習 (300分) 授業での議論を踏まえて、プレゼンテーションに必要な情報を再度整理する。
14	①授業テーマ 中間発表会② ②授業概要 自身で取り組む研究の経過について発表を行う (F 1、H 1、I 2、I 3、J 2)。 ③予習 (300分) これまでの発表形式での授業を参考に、より伝わるプレゼンテーションを目指し、繰り返し練習を行っておく。 ④復習 (300分) プレゼンテーションを振り返り、必要な修正や、課題の抽出を行っておく。	①授業テーマ 最終発表会① ②授業概要 自身で取り組んだ研究について発表を行う (F 1、H 1、I 2、I 3、J 2)。 ③予習 (300分) これまでの準備によって作成された発表内容が正しく聴衆に伝わるよう繰り返し練習を行っておく。 ④復習 (300分) 発表を振り返り今後のプレゼンテーション能力向上のため課題を抽出しておく。
15	①授業テーマ 中間発表会の振り返り ②授業概要 中間発表会を振り返り、自身の研究をまとめていくための討議を他者を含めて行う (F 1、H 1、I 2、I 3、J 2)。 ③予習 (300分) 自身の発表内容および受け付けた質疑について確認しておく。 ④復習 (300分) 討議結果を振り返り、今後の課題や、方向性の修正などを行う。	①授業テーマ 最終発表会②およびまとめ ②授業概要 自身で取り組んだ研究について発表を行う。その後発表内容について講評を受ける (F 1、H 1、I 2、I 3、J 2)。 ③予習 (300分) これまでの準備によって作成された発表内容が正しく聴衆に伝わるよう繰り返し練習を行っておく。 ④復習 (300分) 発表を振り返り今後のプレゼンテーション能力向上のため課題を抽出しておく。
関連科目		ゼミナール I (SSCS4605)、ゼミナール II (SSCS4606)

教科書	特に指定しません。
参考書・参考URL	■松本茂・河野哲也『大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法』（玉川大学出版部） ■立教大学編『Master of Writing (https://www.rikkyo.ac.jp/about/activities/fd/qo9edr0000005dbr-att/MasterofWriting.pdf) 』 ■立教大学編『Master of Presentation (https://www.rikkyo.ac.jp/about/activities/fd/qo9edr0000005dbr-att/MoP.pdf) 』
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 開講時に告知します。
研究比率	

